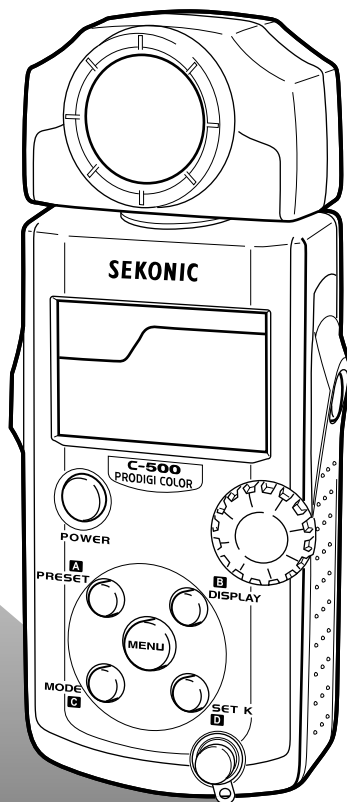


SEKONIC

使用説明書



プロデジカラー
C-500

調整用白ページ

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この使用説明書をよくお読みになり、内容をご理解の上、安全に正しくお使い
ください。

プロデジカラーC-500は、受光部に4つのカラーセンサーを搭載した、
世界初デジタル撮影対応の高性能カラーメーターです。デジタルカメラ
のセンサーまたはフィルムの特性にあわせた各モードがあり、より
正確な色温度の測定を実現しました。また被写体の正確な色再現に必
要な色温度変換フィルターや色補正フィルターの番号および指数を表
示させる機能も兼ね備えています。

プロデジカラーC-500は、視覚的または写真的色温度、LBフィルター番
号、LB指数、CCフィルター番号、CC指数、および簡易照度(lxおよびFC)
を測定・表示することができ、撮影の効率化に威力を発揮します。

同梱付属品

本体の他に以下の付属品が同梱されています。開梱後、付属品にもれがないことをご確認ください。
万一足りないものがあるときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

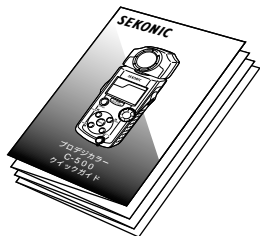
シンクロナーターミナルキャップ
(本体取付済)



ストラップ



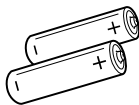
クイックガイド



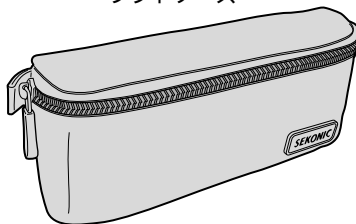
使用説明書(本書)



アルカリ単三形乾電池(2本)



ソフトケース



目次





同梱付属品	i
正しく安全にお使いいただくために	1
1. 各部の名称および機能.....	2
1-1. 名称	2
1-2. 各部の機能	3
2. 液晶表示部の説明	4
3. ご使用前に	6
3-1. ストラップの付け方	6
3-2. 電池の入れ方	6
4. 電源の入れ方	7
4-1. 電源のON/OFF	7
4-2. 電池容量の確認	7
4-3. 測定中の電池交換上の注意	7
4-4. 自動電源OFF機能	8
5. 基本操作	9
5-1. 基本操作フロー	9
5-2. デジタル/フィルムの設定	10
5-3. 測定モードの設定.....	11
5-4. 表示モードの設定.....	12
5-5. 基準色温度の設定.....	14
5-6. シャッター速度の設定(フラッシュ光モードのみ).....	15
5-7. プリセットの選択.....	16
6. 測定	17
6-1. 測定方法.....	17
6-2 定常光モードでの測定	18
6-3. フラッシュ光コードレスモードでの測定.....	19
6-4. フラッシュ光コード接続モードでの測定.....	21
6-5. レンジ切換(フラッシュ光モードのみ).....	23
6-6. 表示範囲/測定範囲を超えたときには	24
6-6-1. 表示範囲を超えたとき	24
6-6-2. 測定範囲を超えたとき	25
7. その他の機能	26
7-1. モニター機能.....	26
7-2. 設定/変更ダイヤルのロックおよび解除	27

目次

8. メニュー設定	28
8-1. メニュー一覧.....	28
8-2. デジタル/フィルム設定	31
8-3. レンジ切換.....	31
8-4. プリセット設定.....	31
8-4-1. プリセット登録.....	32
8-4-2. プリセットデータのクリア	35
8-5. カスタム設定	36
9. 別売アクセサリ	39
10. 仕様	40
11. 付録	42
11-1. 用語集	42
11-2. フィルター使用時の露出補正	43
12. 使用上のご注意	44
13. アフターサービスについて	45

正しく安全にお使いいただくために

ご使用になる前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

 警告	このマークは、製品を正しくお使いいただけなかった場合、製品の使用者等が死亡、または重傷を負う可能性があることを示す警告マークです。
 注意	このマークは、製品を正しくお使いいただけなかった場合、製品の使用者等が軽傷、または中程度の傷害を負う可能性がある状況、または物的損害が予想される危険状況を示す注意マークです。
 ご注意	操作をする上での注意や制限です。誤った操作をしないために、必ずお読みください。
 ご参考	操作の参考になることや、関連した機能などについての情報です。お読みになることをお勧めします。

警告

乳幼児等が誤ってストラップを首に巻くことのないように手の届かない場所に置いてください。窒息の危険があります。

乳幼児等が誤ってシンクローターミナルキャップを飲み込まないように手の届かない場所に置いてください。窒息の危険があります。

電池を火の中に入れて、ショート、分解、加熱、充電以外の充電は絶対しないでください。電池が破裂し火災、ケガ、周囲を汚染する原因となります。

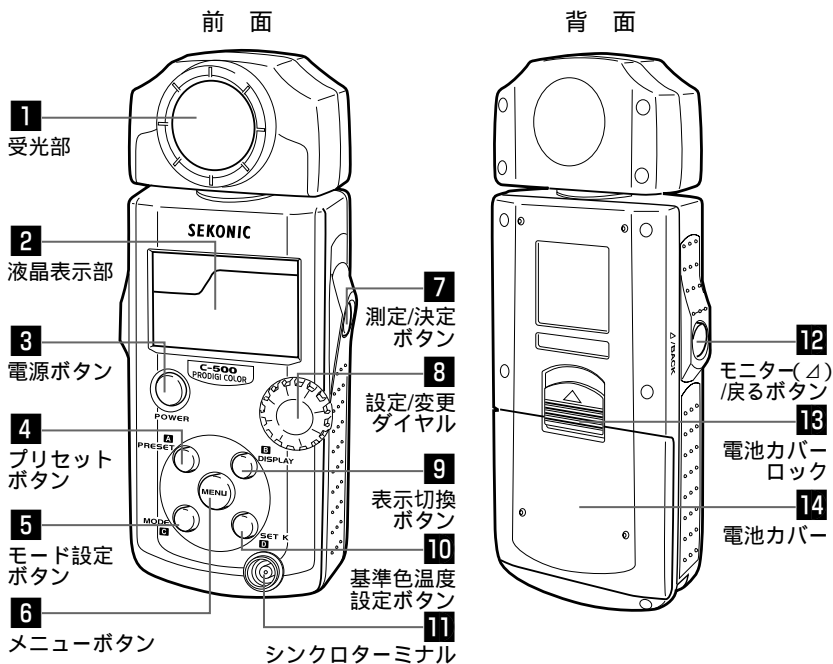
注意

雨中、水しぶきがかかる場所や水気のあるところ、濡れた手で扱うことはしないでください。「フラッシュ光コード接続モード」では感電の危険があります。また、製品が故障する原因となる場合があります。

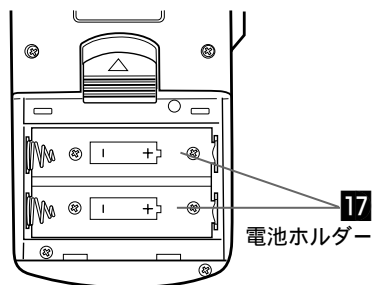
本体は絶対に分解しないでください。

1 各部の名称および機能

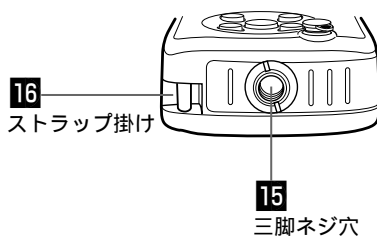
1-1. 名称



電池カバーオープン状態



底面



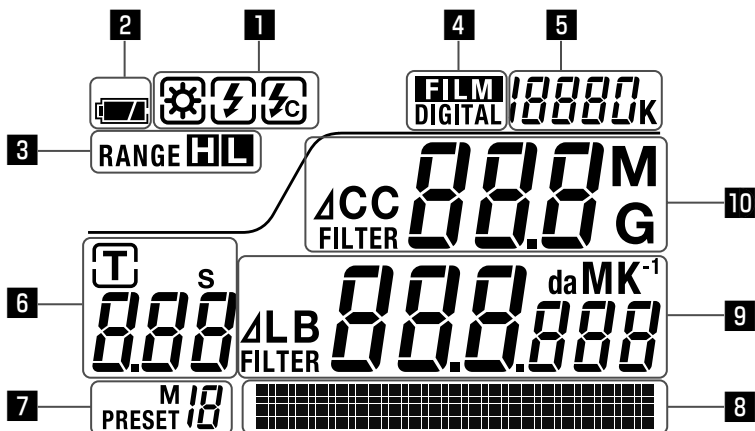
1-2. 各部の機能

以下に各部の機能を示します。

No.	名 称	説 明
1	受光部	測定時、照明(光源)向けます。270度自由に回転します。
2	液晶表示部	設定状態、指示値などが表示されます。(P4参照)
3	電源ボタン	電源をON/OFFします。
4	プリセットボタン	このボタンを押しながら設定/変更ダイヤル④を回すと、プリセットNo.が切り換わります。プリセットNo. 1, 2,... 19、「プリセットなし」1...と変わります。(P16参照) (表示モードが色温度または簡易照度表示に設定されている場合は無効です。)
5	モード設定ボタン	このボタンを押しながら設定/変更ダイヤル④を回すと、測定モードが切り換わります。(P11参照)
6	メニューボタン	メニューモードに入ります。(P30参照)
7	測定/決定ボタン	測定を実行します。選択中のメニュー決定にも使用します。
8	設定/変更ダイヤル	設定値やメニューなどを選択します。
9	表示切換ボタン	このボタンを押すたびに、表示モードが切り換わります。(P12参照)
10	基準色温度設定ボタン	このボタンを押しながら設定/変更ダイヤル④を回すと、基準色温度(ケルビン(K))が切り換わります。(P14参照) (表示モードが色温度または簡易照度表示に設定されている場合は無効です。)
11	シンクロターミナル	フラッシュ光接続モードでの測定時、シンクロコード(別売り)を差込みます。
12	モニター(Δ)戻るボタン	測定モード時はモニターボタンとして働きます。(P26参照)メニュー操作時は「戻る」ボタンとして働きます。
13	電池カバーロック	電池カバーのロック部です。
14	電池カバー	電池カバーです。
15	三脚ネジ穴	三脚用のネジ穴です。
16	ストラップ掛け	付属のストラップを掛けることができます。
17	電池ホルダー	電池収納部です。

2 液晶表示部の説明

C-500の表示部



本表示は説明のため、すべてを表示しています

1 測定モード表示部

- 定常光モード (P18参照)
- フラッシュ光コードレスモード (P19参照)
- フラッシュ光コード接続モード (P21参照)

2 電池容量表示部

- 電池容量は十分です。
- 予備の電池を用意してください。
- 点滅した場合は、直ちに電池を交換してください。

3 フラッシュ光レンジ表示部 (P23参照)

フラッシュ光コードレスモード、フラッシュ光コード接続モード時に表示されます。

RANGE Hを選択時、点灯します。

RANGE Lを選択時、点灯します。

4 デジタル/フィルム表示部 (P10参照)

DIGITAL デジタルを選択した時に点灯します。

フィルムを選択した時に点灯します。

5 基準色温度表示部 (P14参照)

5500k 設定した色温度を表示します。

6 シャッター速度表示部 (P15参照)

フラッシュ光モードのみ表示されます。

T 設定されたシャッター速度を表示します。

S 「s」は、シャッター速度の単位が「秒」であることを示します。

例:「1s」はシャッター速度が1秒、「60」は1/60秒であることを示します。

7 プリセット番号/モニター表示部

PRESET **18** プリセット機能を選択時、点灯します。

(選択したプリセットNo.1~19が点灯します。)(P16参照)

M モニター機能を使用時、点滅します。(P26参照)

8 プリセット名、メニュー名、照度単位 (ドットマトリクス部)

メニュー選択中にメニュー名を表示します。

プリセット設定時、プリセット名を表示します。

照度の単位は、カスタム設定の「**11** Llm i。」が設定されている場合のみ表示されます。

9 LB値、色温度値、照度表示部 (P12参照)

表示モードによりLB指数、LBフィルター番号、色温度が表示されます。

簡易照度表示は、カスタム設定の「**11** Llm i。」が設定されている場合のみ表示されます。

表示範囲外や測定範囲外のエラーの場合は、「**Under**」(アンダー)または「**Over**」(オーバー)が表示されます。(P24参照)

Under 表示範囲より低い時、点灯します。

測定範囲より低い(暗すぎるまたは色温度が低すぎる)時、点滅します。

Over 表示範囲より高い時、点灯します。

測定範囲より高い(明るすぎるまたは色温度が高すぎる)時、点滅します。

10 CC値表示部 (P12参照)

表示モードによりCC指数、CCフィルター番号が表示されます。

表示範囲外や測定範囲外のエラーの場合は、「**L**」(アンダー)または「**O**」(オーバー)が表示されます。(P24参照)

L 表示範囲より低い時、点灯します。

測定範囲より低い(暗すぎるまたは色温度が低すぎる)時、点滅します。

O 表示範囲より高い時、点灯します。

測定範囲より高い(明るすぎるまたは色温度が高すぎる)時、点滅します。

液晶バックライト(EL)

測定を行っている場所が暗い時(EV6=約160lxまたは約15FC以下)測定後明るさを感知して自動的に液晶表示部が照明されます。測定中、およびフラッシュ光コードレス待機時は、指示値に影響を及ぼすため、照明されません。

液晶のバックライトは各ボタンの操作後、約20秒で自動的に消灯されます。暗い所で指示値を確認する等、再度バックライトを点灯させたいときは、受光部を手で覆い、モード設定ボタンを押すと点灯します。尚、ELの機能上、場合によっては特有な音がすることがありますが、本機の性能上問題ありません。

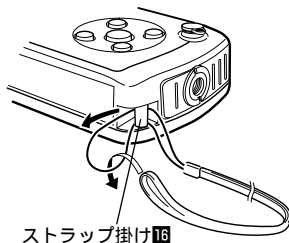
3 ご使用の前に

3-1. ストラップの付け方

- 1) 付属のストラップをストラップ掛け**16**側面の穴から通します。
- 2) ストラップ先端の輪の中に、ストラップの反対側を通します。

⚠ 警告

乳幼児等が誤ってストラップを首に巻くことのないように手の届かない場所に置いてください。窒息の危険があります。



ストラップ掛け**16**

3-2. 電池の入れ方

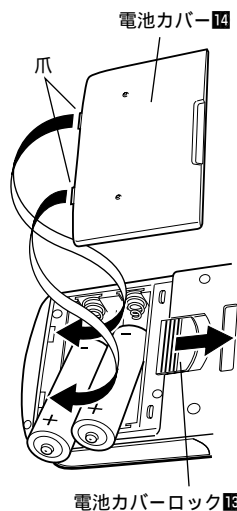
- 1) 単三形電池を2本用意します。
- 2) 電池カバーロック**13**を矢印方向にずらした状態で、電池カバー**14**を取外します。
- 3) 電池ホルダー**17**の「+」「-」表示に合わせて、電池を入れます。
図のように、2本とも同じ向きに入れてください。
- 4) 電池カバー**14**の2本の爪を差し込み、電池カバー**14**を上から押して取り付けます。

⚠ 警告

電池を火の中に入れて、ショート、分解、加熱、充電以外の充電は絶対しないでください。電池が破裂し火災、ケガ、周囲を汚染する原因となります。

⚠ 注意


電池は-(マイナス)側から入れてください。取り外すときは+(プラス)側から取り外してください。
銘柄の異なる電池を使用しないでください。また、新しい電池と使用した電池を混ぜて使用しないでください。
長期間使用しない場合は、電池を取り出しておいてください。電池の液漏れが発生し、本機に悪影響を与えることがあります。



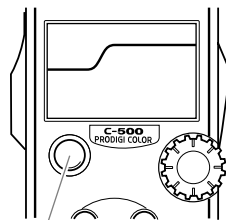
電池カバーロック**13**

4 電源の入れ方

4-1. 電源のON/OFF

電源ON: 電源ボタン**3**を押します。
本機がONし、「Wait...」表示後、液晶表示部に測定画面が表示されます。画面右上に「」または「DIGITAL」が約5秒間点滅します。

電源OFF: 電源ボタン**3**を1秒以上押します。本機がOFFし、表示が消えます。



電源ボタン**3**

！ ご注意




電源ボタンのON/OFFの間隔は3秒以上あけてください。

ご参考

液晶に何も表示されない場合は、電池容量が充分あるか(以下の「4-2.電池容量の確認」参照) また電池が「+」-」逆」に挿入されていないかを確認してください。
電源をOFFしても、操作中の設定値・測定値は記憶されており、電源をONすると再表示されます。

4-2. 電池容量の確認

電源をONすると、液晶表示部に電池容量を示すアイコンが表示されます。

-  電池容量は十分です。
-  予備の電池を用意してください。
-  点滅した場合は、直ちに電池を交換してください。

ご参考

電池容量がない状態では、電源をONした後、液晶表示が現れ、すぐに表示が消える場合がありますが、故障ではありません。新しい電池に交換してください。予備の電池を予め用意しておくことをお勧めします。
連続測光した場合、本機の電池寿命は常温で約12時間(アルカリ電池当社試験条件)です。
お買上時に本機に同梱されている電池は、電池寿命が短い可能性があります。

4-3. 測定中の電池交換上の注意

- 1) 必ず電源をOFFにしてから電池交換を行ってください。
- 2) 電池交換後または測定中、液晶表示部に異常な表示(設定していない表示等)が現われた場合や、操作ボタンを押しても動作しない場合などは、電池を一度取り出し10秒以上経過してから入れ直してください。

4-4. 自動電源OFF機能

省電力設計のため、使用後(最後のボタン操作後)約20分で自動的にすべての表示が消え電源はOFFとなります。

ご参考

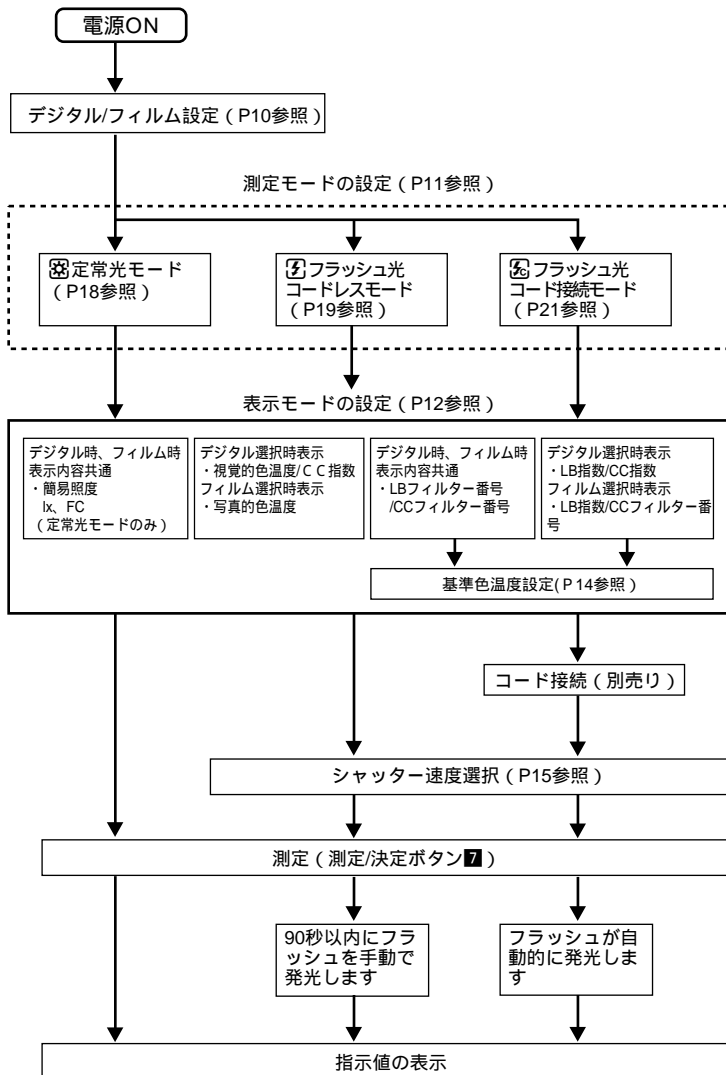
自動電源OFF機能が働いて電源がOFFした場合でも、設定値・指示値は記憶されており、電源をONすることで再表示されます。

自動電源OFFになる時間はカスタム設定で選択できます。(P36参照)

電源が切れた状態で電源ボタンが押され続けたときは、電源はいったんONしますが約1分後に自動的にOFFになります。(輸送中に電源ボタンが押されたままになっていた場合でも電池の消耗を避けることができます。)

5 基本操作

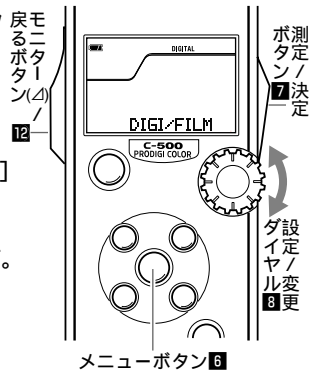
5-1. 基本操作フロー



5-2. デジタル/フィルムの設定

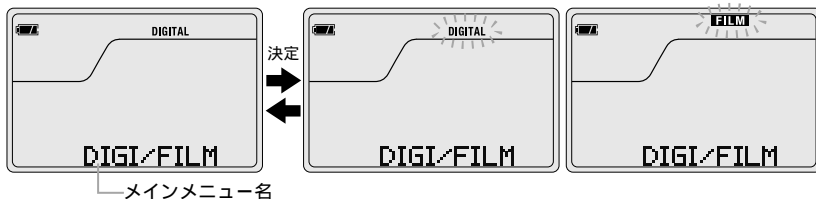
撮影に使用するカメラの種類(デジタルまたはフィルム)を設定します。

- 1) メニューボタン **6** を押してメインメニューに入ります。(ドットマトリクス部にメニュー名が表示されます。)
- 2) 設定/変更ダイヤル **8** を回して [DIGI/FILM] (デジタル/フィルム) を選択し、測定/決定ボタン **7** を押します。
現在の設定値 (DIGITAL、■■■■) が点滅します。
- 3) 設定/変更ダイヤル **8** を回して DIGITAL または ■■■■ を選択し、測定/決定ボタン **7** を押します。(メインメニューに戻ります。)
- 4) モニター(Δ)/戻るボタン **12** を押すかメニューボタン **6** を押して測定画面に戻ります。



メインメニュー画面

サブメニュー選択画面



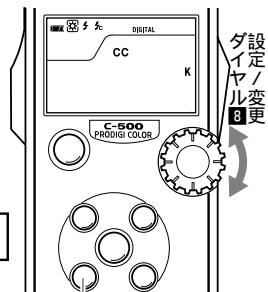
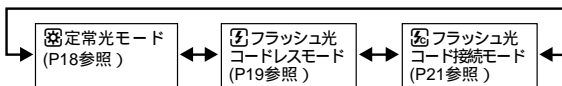
! ご注意

デジタルを選ぶとデジタルカメラの特性に基づいた指示値(視覚の色温度)が、フィルムを選ぶとフィルムカメラの特性に基づいた指示値(写真的色温度)が表示されます。フィルムカメラ使用時にデジタルを選択した場合やデジタルカメラ使用時にフィルムを選択した場合は、正確な色再現ができない場合がありますのでご注意ください。

5-3. 測定モードの設定

測定する光源のタイプや、フラッシュ光の測定方式を選択します。

モード設定ボタン **5** を押しながら設定/変更ダイヤル **8** を回して、使用する測定モードを選択します。測定モードは下記のように切り換わります。



モード設定ボタン **5**

！ ご注意

測定モードの設定を変更すると、測定データがクリアされます。

ご参考

定常光とは、自然光(太陽光)または tungsten lamp・蛍光灯のような連続光のことです。フラッシュ光とは、フラッシュまたはフラッシュバルブ(閃光電球)のような瞬間光のことです。

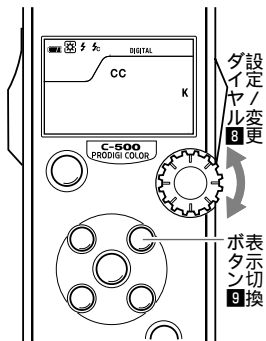
5-4. 表示モードの設定

目的に応じて指示値の表示方法を切り替えます。表示できるモードはデジタル設定時とフィルム設定時で異なります。

ご参考

測定後に表示モードを切り替えて、指示値を各表示モードで表示させることができます。

- 1) 表示切換ボタン **9** を押して目的の表示モードを選択します。(表示切換ボタン **9** を押すたびに表示モードが切り換わります。)

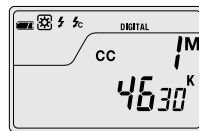


デジタル時の表示モード：

視覚の色温度/CC指数(KとCCで表示)

視覚の色温度・・・色温度をケルビン(K)で表示します。色温度で光源管理したり、色温度直接入力機能を有するデジタルカメラのホワイトバランスを使うときに選択します。

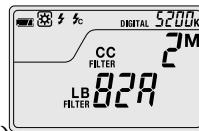
CC指数・・・黒体放射軌跡からのずれ量に対する補正量を指数で表示します。(CC指数1 = 2.5CCフィルター番号相当。デジタルカメラのホワイトバランス補正機能などの目安に使えます。)



LBフィルター番号/CCフィルター番号(LB FILTERとCC FILTERで表示)

コダックのラッテンおよびLEEのフィルターまたは富士フィルムのLBA/LBBとCCフィルター番号を表示します。(カスタム設定にて切り替えることができます。P36参照)

光源を基準色温度にあわせるための色温度変換フィルターや色補正フィルターを使うときに選択します。(P43参照)

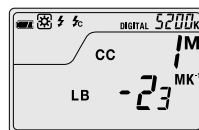


! ご注意

デジタルカメラのセンサー特性の為、フィルターの効果が十分に得られない事があります。

LB指数/CC指数(LBとCCで表示)

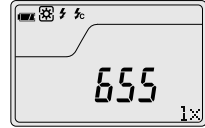
LB指数・・・MK⁻¹で表示します。(カスタム設定にて表示ステップを選択可能。P36参照)上記フィルター番号にないフィルターを使うときに選択します。(P43参照)



CC指数・・・黒体放射軌跡からのずれ量に対しての補正量を指数で表示します。(CC指数1 = 2.5CCフィルター番号相当。デジタルカメラのホワイトバランス補正機能などの目安に使えます。)

簡易照度(ルクス(Lx)とフートキャンドル(FC)で表示)

照度をlxまたはFCで表示します。(定常光モードで、カスタム設定にて選択しているときに表示。P36参照)
光源の明るさを照度として測るときに選択します。



(lx表示例)

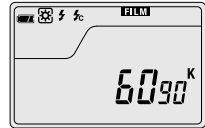
! ご注意

簡易照度は上位3桁有効で表示しており、撮影の目安に使用することを主な目的としています。計量法で定められている測定には使用できません。

フィルム時の表示モード:

写真的色温度(Kで表示)

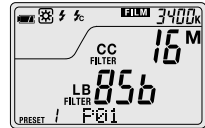
写真的色温度・・・色温度をケルビン(K)で表示します。
フィルムを使う場合や、これまでの市場にあるカラーメーターの指示値に慣れている場合は、この表示モードを選択し、指示値を目安として使うことができます。



LBフィルター番号/CCフィルター番号(LB FILTERとCC FILTERで表示)

コダックのラッテンおよびLEEのフィルターまたは富士フィルムのLBA/LBBやCCフィルター番号を表示します。(カスタム設定にて切り替えることができます。)

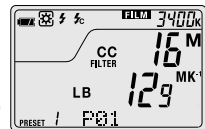
P36参照 光源を基準色温度にあわせるための色温度変換フィルターや色補正フィルターを使うときに選択します。(P43参照)



LB指数/CCフィルター番号(LBとCC FILTERで表示)

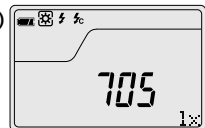
LB指数・・・MK⁻¹で表示します。(カスタム設定にて表示ステップを選択可能。P36参照)上記フィルター番号にないフィルターを使うときに選択します。(P43参照)

CCフィルター番号・・・コダックのラッテンおよびLEEのフィルターまたは富士フィルムのCCフィルター番号を表示します。(カスタム設定にて切り替えることができます。P36参照)色補正フィルターを使うときに選択します。(P43参照)



簡易照度(ルクス(Lx)とフートキャンドル(FC)で表示)

照度をlxまたはFCで表示します。(定常光モードで、カスタム設定にて選択しているときに表示。P36参照)
光源の明るさを照度として測るときに選択します。



(lx表示例)

! ご注意

簡易照度は上位3桁有効で表示しており、撮影の目安に使用することを主な目的としています。計量法で定められている測定には使用できません。
フィルター番号の「B」「D」の大文字は本機では「b」「d」の小文字で表示します。
81EFのフィルター番号は本機では81E（Fは省略）と表示します。

ご参考

MK⁻¹はミレド(MIREID)に相当します。(P42参照)
従来使われていたミレド(MIREID)という単位は現在、国際単位系(SI単位系)に基づき毎メガケルビン(MK⁻¹)に統一されています。本機は最新の単位表記を採用しています。

5-5. 基準色温度の設定

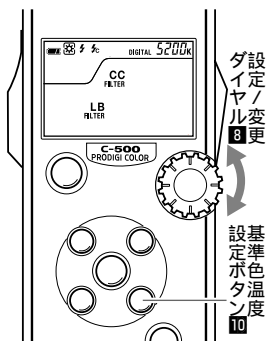
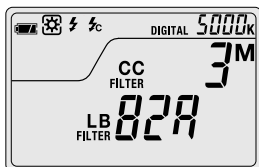
LB/CCフィルター番号またはLB/CC指数表示モードのとき基準となる色温度を設定します。基準色温度は、測定画面右上に表示されています。

ご参考

表示モードが色温度または、簡易照度表示の場合、基準色温度は表示されず設定できません。

基準色温度設定ボタン 10 を押しながら設定/変更ダイヤル 8 を回して基準色温度を設定します。

測定画面



ご参考

デジタルの場合

使用するカメラにマニュアル設定する色温度と同じ色温度に設定します。ホワイトバランスモードやメーカーによっては忠実色再現のために推奨する色温度があります。お使いのカメラの説明書をご確認ください。

好みに応じて2000~10,000Kまで100Kステップで設定可能です。(カスタム設定により、10MK⁻¹ステップで設定することもできます。P36参照)

ホワイトバランスモードの色温度は、プリセット設定を使うと便利です。(P34参照)

フィルムの場合

使用するフィルムのタイプの色温度を設定します。

デライトタイプ: 5500K

タングステンタイプ-A: 3400K

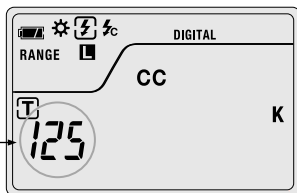
タングステンタイプ-B: 3200K

好みに応じて2500K~10000Kまで100Kステップで設定可能です。

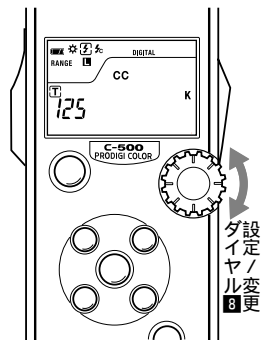
5-6. シャッター速度の設定（フラッシュ光モードのみ）

フラッシュ光を使用する場合は、測定に先立ってシャッター速度を設定します。

測定画面表示時、設定/変更ダイヤル⁸を回してシャッター速度を設定します。



シャッター速度
「s」は、シャッター速度の単位が「秒」であることを表します。
例：0.4sは0.4秒、60は、1/60秒を示します。



！ ご注意

使用する機器の同調範囲内でシャッター速度を設定してください。
シャッター速度の設定を変更すると、測定データがクリアされます。

ご参考

シャッター速度の段数はカスタム設定機能により、1段、1/2段、1/3段毎のステップに切換えることができます。(P38参照)
設定できるシャッター速度は、1秒～1/500秒です。1/500の次に旧シャッター系列、1/75、1/80、1/90、1/100、1/200、1/400が設定できます。

5-7. プリセットの選択

プリセットNo.1～19を選択することにより、予め測定条件を設定したプリセット値を使用できます。

デジタルカメラのプリセットホワイトバランスや、撮影意図に応じた補正值をプリセット値として設定しておくことにより、これらを反映した指示値を得ることができます。

なお、表示モードが色温度または、簡易照度表示に設定されている場合は、プリセットの選択はできません。

！ ご注意

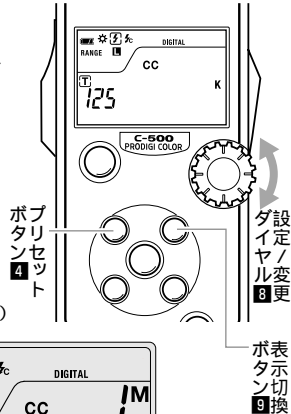
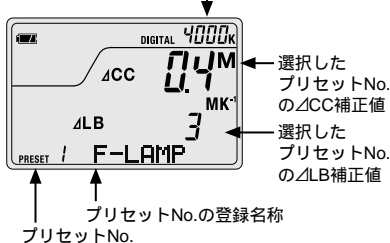
測定の際にプリセット値を使用しない場合は、プリセットNo.を非表示にしてください。

ご参考

プリセット設定についてはP31を参照してください。

- 1) 表示切替ボタン 9 を押してLB/CC指数またはLB/CCフィルタの表示を選択します。
- 2) プリセットボタン 4 を押しながら、設定/変更ダイヤル 8 を回してプリセットNo.を選択します。(プリセット名が登録されている場合は、名称を参照することもできます。)プリセットNo.は1 2 … 19、「非表示(プリセット)」1 …と変わり、それぞれプリセットされている値が表示されます。

選択したプリセットNo.のプリセット色温度(デジタル設定のみ)



- 3) プリセットボタン 4 を離します。

そのプリセットNo.に予め設定されているプリセット値が設定され、測定後指示値に反映されます。表示は、元の測定画面に戻ります。

！ ご注意

プリセット機能で設定したプリセット色温度が、基準色温度よりも優先されます。(デジタルのみ)

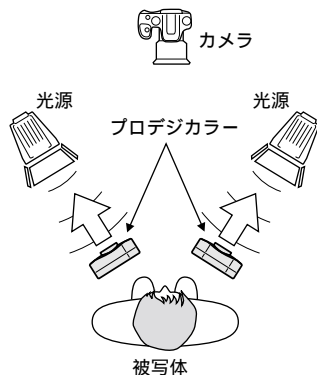
ご参考

測定画面でプリセットボタン 4 を押している間、プリセット内容が表示されます。

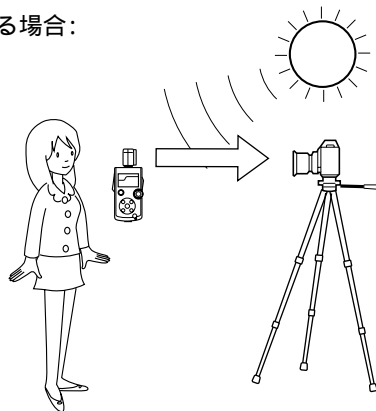
6 測定

6-1. 測定方法

複数の光源の色温度を合わせる場合：
複数の光源を使用した撮影の場合は、光源ごとの色温度のバランスを合わせてから撮影することが重要です。色温度の違う光源を左右に配置して撮影すると、被写体の左右で色味が違ってしまいます。
受光部を、被写体の位置から光源に向けて測定してください。



カメラに対して被写体の色温度を合わせる場合：
複数の光源の色温度が均等になった後に1つの光源を使用する場合、被写体を受けている色温度を測ります。デジタルカメラやフィルムの感光体の分光感度に合わせた被写体の色再現ができるようにカメラに対して補正を行う場合は、受光部を被写体の位置からカメラ(レンズの光軸)に向けて測定してください。




！ ご注意

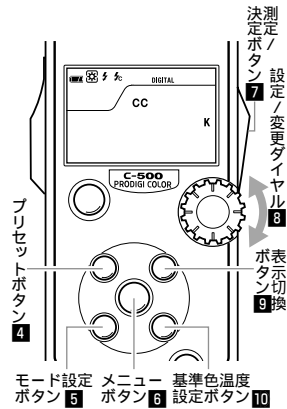
光源からの光だけでなく周囲からの反射光なども被写体に当たります。測定は被写体位置で行ってください。ただし、被写体に当たる光がほぼ光源だけの場合は、光源に近づいて測定を行ってください。

測光者が測光に影響を与えないようにしてください。(光源の光を遮らないでください。服装の色により反射光が生じます。この反射光が受光部に入らないように注意してください。) 精度に影響を与える恐れがありますので、受光部の白色平板には傷や汚れを付けないように扱ってください。受光部が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)は絶対に使用しないでください。

6-2. 定常光モードでの測定

自然光(太陽光)やタングステンランプ・蛍光灯のような連続光は、定常光モードで測定を行います。

- 1) 使用するカメラの種類(デジタル、フィルム)を選択します。(メニューボタン**6**を押してDIGI/FILMメニューを選択します。(P10参照))
- 2) モード設定ボタン**5**を押しながら設定/変更ダイヤル**8**を回して、定常光モードに切り換えます。(P11参照)
- 3) 表示モードを選択します。
表示切換ボタン**9**を押して、表示モードを選択します。(P12参照)
- 4) 基準になる色温度を設定します。(基準温度設定ボタン**10**を押しながら設定/変更ダイヤル**8**を回して設定します。(P14参照))



ご参考

色温度の表示モードのみお使いの方は基準色温度の設定を省略することができます。

- 5) 指示値を補正したい場合は、登録してあるプリセットNo.を呼び出して設定します。(プリセットボタン**4**を押しながら、設定/変更ダイヤル**8**を回してプリセットNo. 1～19を選択します。(P16参照))

ご参考

予め補正值などをプリセットしておく必要があります。(P31参照)

- 6) 測定/決定ボタン**7**を押します。測定が行われ、指示値が表示されます。ボタンを押している間は連続的に測定が行われ、離すと測定が完了し、離れた時点の指示値が表示されます。

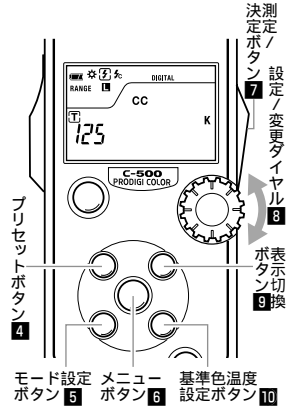
! ご注意

明るさ(または暗さ)または色温度が本機の測定範囲を超えた場合、測定/決定ボタン**7**を押すと [O, Under] (または [U, Under]) が点滅し、測定できないことが示されます。この場合は明るさ、または色温度を調節してください。

6-3. フラッシュ光コードレスモードでの測定

この測定モードでは、本機を測定待機状態(90秒間)にセットし、この間にフラッシュを発光させて測定します。一般的にフラッシュと本機に距離がありシンクロコードが届かない場合や、シンクロコードを使用せずにフラッシュ光を測定したい場合に使用します。

- 1) 使用するカメラの種類(デジタル、フィルム)を選択します。(メニューボタン**6**を押して「DIGITAL/FILM」メニューを選択します。)(P10参照)
- 2) モード設定ボタン**5**を押しながら設定/変更ダイヤル**8**を回して、「**4**」フラッシュ光コードレスモードに切り換えます。(P11参照)
- 3) 表示モードを選択します。
表示切換ボタン**9**を押して、表示モードを選択します。(P12参照)
- 4) 基準になる色温度を設定します。(基準色温度設定ボタン**10**を押しながら設定/変更ダイヤル**8**を回して設定します。)(P14参照)



ご参考

色温度の表示モードのみお使いの方は基準色温度の設定を省略することができます。

- 5) 設定/変更ダイヤル**8**を回してシャッター速度を設定します。(P15参照)

！ご注意

シャッター速度は、使用する機器の同調範囲内で設定してください。

- 6) メニューボタン**6**を押して「SET RANGE」メニューでレンジ(H、L)を選択します。(P23参照)

ご参考

フラッシュの光量が大きい時はH、小さい時はLを選択します。

- 7) 指示値を補正したい場合は、登録してあるプリセットNo.を呼び出して設定します。(プリセットボタン**4**を押しながら、設定/変更ダイヤル**8**を回してプリセットNo. 1~19を選択します。(P16参照))

ご参考

予め補正值などをプリセットしておく必要があります。(P31参照)

- 8) 測定/決定ボタン**7**を押すと、測定待機状態に入り**4**アイコンが90秒間点滅します。
- 9) **4**アイコン点滅中にフラッシュ光を手動で発光させます。測定が行われ、指示値が表示されます。

ご参考

フラッシュ光を発光する前に**4**アイコンの点滅が終了したときや、もう一度測定し直したいときは、手順8)~9)を繰り返してください。

！ご注意

フラッシュを発光させても周囲光に比べてフラッシュの光量が少ない場合は、光を感じない場合があります。その場合は「フラッシュ光コード接続モード」(P21参照)で測定してください。ラピッドスタート型蛍光灯や特殊な照明下では、まれにこれらの光をフラッシュ光として判別し、測定してしまうことがあります。このような場合は「フラッシュ光コード接続モード」(P21参照)で測定してください。

測定待機中にフラッシュを発光させなくても、受光部に急激な光の変化が起きると測定してしまうことがあります。これを避けるためには「フラッシュ光コード接続モード」(P21参照)で測定してください。

フラッシュバルブは発光波形がなだらかなため、コードレス測定では光を感じません。必ず「フラッシュ光コード接続モード」(P21参照)で測定してください。

ご参考

フラッシュ光コードレスモードを使う場合、三脚ネジ**10**を利用して本体を三脚またはスタンドに固定し、測定を行うと便利です。

明るさ(または暗さ)または色温度が本機の測定範囲を超えるときは、測定/決定ボタン**7**を押すと「*Over*」(または「*Under*」)が点滅し、測定できないことが示されます。この場合は明るさ、または色温度を調節するか、レンジを切換えてください。(P23参照)

6-4. フラッシュ光コード接続モードでの測定

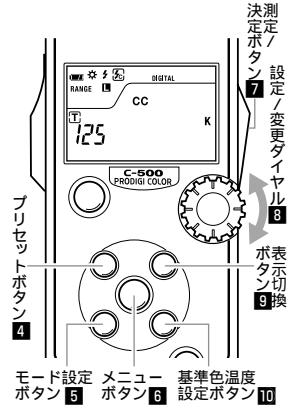
この測定モードでは、フラッシュと本機をシンクロコード(別売り)で接続して測定を行います。フラッシュとの同調を確実にしたいときやフラッシュバルブ(閃光電球)で発光する場合に使用します。

- 1) 使用するカメラの種類(デジタル、フィルム)を選択します。(メニューボタン**6**を押して「DIGI/FILM」メニューを選択します。(P10参照))
- 2) モード設定ボタン**5**を押しながら設定/変更ダイヤル**8**を回して、**5**フラッシュ光コード接続モードに切り換えます。(P11参照)
- 3) フラッシュのシンクロコード(別売り)を本機のシンクロターミナル**11**に接続します。
- 4) 基準になる色温度を設定します。(基準色温度設定ボタン**10**を押しながら設定/変更ダイヤル**8**を回して設定します。(P14参照))

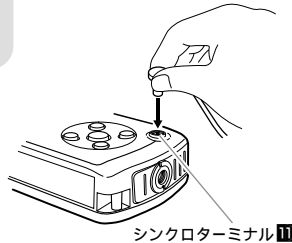
ご参考

色温度の表示モードのみお使いの方は基準色温度の設定を省略することができます。

- 5) 表示モードを選択します。
表示切換ボタン**9**を押して、表示モードを選択します。(P12参照)
- 6) 設定/変更ダイヤル**8**を回してシャッター速度を設定します。(P15参照)



モード設定ボタン**5**、メニューボタン**6**、基準色温度設定ボタン**10**



! ご注意

シャッター速度は、使用する機器の同調範囲内で設定してください。

- 7) メニューボタン**6**を押して「SET RANGE」メニューでレンジ(**H**)、(**L**)を選択します。(P23参照)

ご参考

フラッシュの光量が大きい時はH、小さい時はLを選択します。

- 8) 指示値を補正したい場合は、登録してあるプリセットNo.を呼び出して設定します。(プリセットボタン**4**を押しながら、設定/変更ダイヤル**8**を回してプリセットNo. 1~19を選択します。)(P16参照)

ご参考

予め補正值などをプリセットしておく必要があります。(P31参照)

- 9) 測定/決定ボタン**7**を押します。フラッシュが発光し、指示値が表示されます。

警告

乳幼児等が誤ってシンクローターミナルキャップを飲み込まないように手の届かない場所に置いてください。窒息の危険があります。

注意

雨中、水しぶきがかかる場所や水気のあるところ、濡れた手で扱うことはしないでください。「フラッシュ光コード接続モード」では感電の危険があります。また、製品が故障する原因となる場合があります。

ご注意

シンクローターミナルにシンクロコードを接続したときや本機の電源ボタンを操作した場合、フラッシュによっては発光してしまう場合があります。
極端にトリガー電圧が低いフラッシュ等では、発光しない場合があります。この場合は「フラッシュ光コードレスモード」で測定してください。(P19参照)
フラッシュバルブ(閃光電球)を発光させて測定するときは、同調範囲を確認してシャッター速度を設定してください。

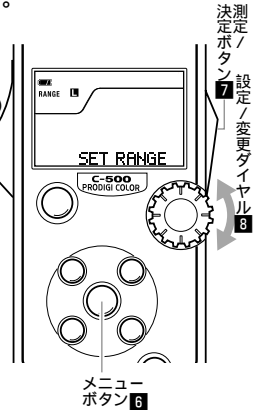
ご参考

明るさ(または暗さ)または色温度が本機の測定範囲を超えるときは、測定/決定ボタン**7**を押すと「*Over*」(または「*Under*」)が点滅し、測定できないことが示されます。この場合は明るさ、または色温度を調節するか、レンジを切換えてください。(P23参照)

6-5. レンジ切換（フラッシュ光モードのみ）

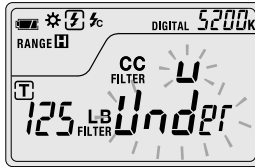
フラッシュ光の強さに応じて、レンジ(H、L)を切り換えて使用します。現在設定されているレンジが画面左上に表示されます。

- 1)メニューボタン**6**を押してメインメニューに入ります。(ドットマトリクス部にメニュー名が表示されます。)
- 2)設定/変更ダイヤル**8**を回して「SET RANGE」を選択し、測定/決定ボタン**7**を押して確定します。現在設定されているレンジ(H、L)が点滅します。
- 3)設定/変更ダイヤル**8**を回して目的のレンジ(H、L)を選択し、測定/決定ボタン**7**を押して確定します。
- 4)モニター(Δ)/戻るボタン**12**を押すか、メニューボタン**6**を押して測定画面に戻ります。

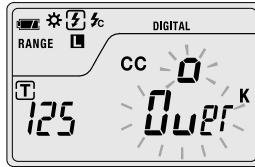


- H**: フラッシュ光量が大きいときに選択します。
測光時、光量がアンダーのときは[L, Under]が点滅します。このときは、レンジをHからLに切り換えて使用します。
- L**: フラッシュ光量が小さいときに選択します。
測光時、光量がオーバーのときは[H, Over]が点滅します。このときは、レンジをLからHに切り換えて使用します。

レンジH L設定必要時



レンジL H設定必要時



[設定レンジと絞り値設定]

以下はH/Lの各レンジに設定した場合の推奨絞り値を表しています。
(ISO100時)

F No. 160 ~ 90g

Hレンジ

絞り値 F 2.8 4.0 5.6 8.0 11 16 22 32 45 64 90 128

Lレンジ

F No. 2.80 ~ 220

6-6. 表示範囲/測定範囲を超えたときには

6-6-1. 表示範囲を超えたとき

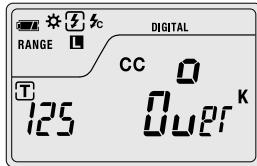
[O, Over]が点灯した場合:

指示値が本機の表示範囲の上限を超えた場合は、[O, Over]が点灯します。設定/変更ダイヤル⑧を回して、シャッター速度をカメラが同調する範囲内の高速側に変更するか、フラッシュの光量を弱くして、再測定を行うと指示値を表示させることができます。

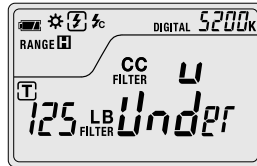
[U, Under]が点灯した場合:

指示値が本機の表示範囲の下限を超えた場合は、[U, Under]が点灯します。設定/変更ダイヤル⑧を回して、シャッター速度をカメラが同調する範囲内の低速側に変更するか、フラッシュの光量を強くして、再測定を行うと指示値を表示させることができます。

表示範囲オーバー表示例



表示範囲アンダー表示例



本機が表示できる範囲:

色温度(デジタル/フィルム):	2,300 K ~ 20,000 K
LBフィルタ番号	
(コダックラッテン/LEE):	80A+82D ~ 85B+81E(40通り)
(フジLBA/LBB)	: B20+B16 ~ A20+A16(57通り)
LB指数	: -500 ~ +500MK ⁻¹ (-50 ~ +50daMK ⁻¹)
CCフィルタ番号	: 200G ~ 200M
CC指数	: 80G ~ 80M
簡易照度 lx	: 2.5 ~ 610,000lx
FC	: 0.23 ~ 56,500FC

6-6-2. 測定範囲を超えたとき

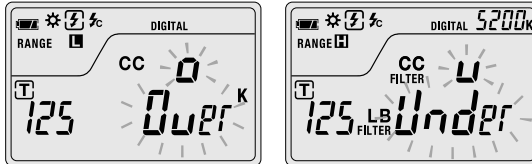
[O, Over]が点滅した場合:

レンジ [L] に合わせても [O, Over] が点滅する場合は、測定が行われません。この場合はフラッシュの光量を調節(光量を小さく)して再測定してください。または光源から離れて再測定してください。

[U, Under]が点滅した場合:

レンジ [H] に合わせても [U, Under] が点滅する場合は、測定が行われません。この場合はフラッシュの光量を調節(光量を大きく)して再測定してください。または光源に近づいて再測定してください。

測定範囲アンダー表示例



本機が測定できる範囲(ISO100時)

定常光	:	EV3 (20 lx) ~ EV16.3 (200,000 lx)
フラッシュ光Lレンジ	:	F No.2.80 ~ F No.220
フラッシュ光Hレンジ	:	F No.160 ~ F No.909
簡易照度	lx	: 2.5 lx ~ 610,000 lx
	FC	: 0.23 FC ~ 56,500 FC

7 その他の機能

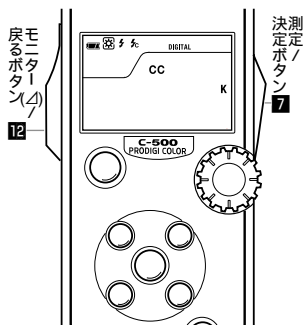
7-1. モニター機能

スタジオでのライティング機材の確認を行うときに便利な機能です。

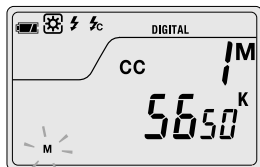
あるポイントでの測定値を基準とした後、比較したい箇所で測定/決定ボタン \blacksquare を押している間、基準値とその箇所の差をいずれの表示モードにおいても表示できます。

- 1) 基準としたい箇所で測定/決定ボタン \blacksquare を押して測定を行います。
- 2) モニター(\triangle)/戻るボタン \blacksquare を押し、基準となる指示値をメモリーします。
画面下部左で、**M**文字が点滅しモニター中であることが表示されます。
- 3) 比較したい場所で測定/決定ボタン \blacksquare を押し続けます。

測定/決定ボタン \blacksquare を押している間、基準値と新しく測定された値との差(Δ)が表示されます。

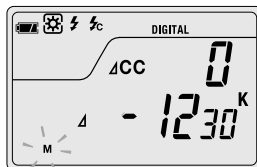


モニターモード画面 (測定基準値)



Mが点滅します。

差分表示画面



測光ボタンを押し続けます。

ご参考

測定/決定ボタン \blacksquare を離すと、2)でメモリーした値を表示します。

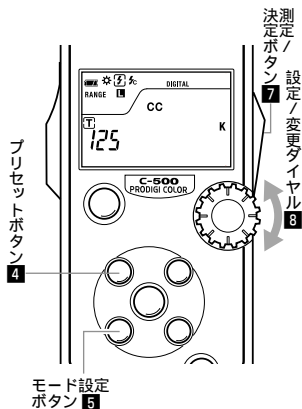
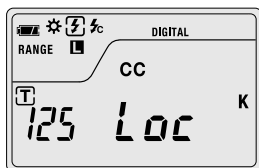
- 4) モニター機能の解除はモニター(\triangle)/戻るボタン \blacksquare をもう一度押します。
M文字が消え、通常の測定画面に戻ります。

7-2. 設定/変更ダイヤルのロックおよび解除

フラッシュ光モードのとき不用意なダイヤル操作によりシャッター速度の設定値を変えないように、設定/変更ダイヤルをロックしておくことができます。

ロックの設定:

プリセットボタン**4**とモード設定ボタン**5**を同時に押します。[Loc]が表示され、設定/変更ダイヤル**8**がロックされます。以降は設定/変更ダイヤル**8**を回しても設定値、指示値は固定されて変わりません。ただし、測定/決定ボタン**7**を押すと、新たな指示値が表示されます。(設定値は変わりません。)

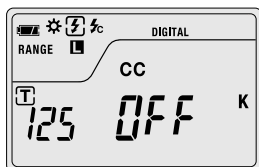


ご参考

設定/変更ダイヤル**8**を回すと、[Loc]が瞬間的に表示され、ダイヤルがロック状態にあることが示されます。

ロックの解除:

プリセットボタン**4**とモード設定ボタン**5**をもう一度同時に押します。[OFF]が表示され、設定/変更ダイヤル**8**のロックが解除されます。



ご参考

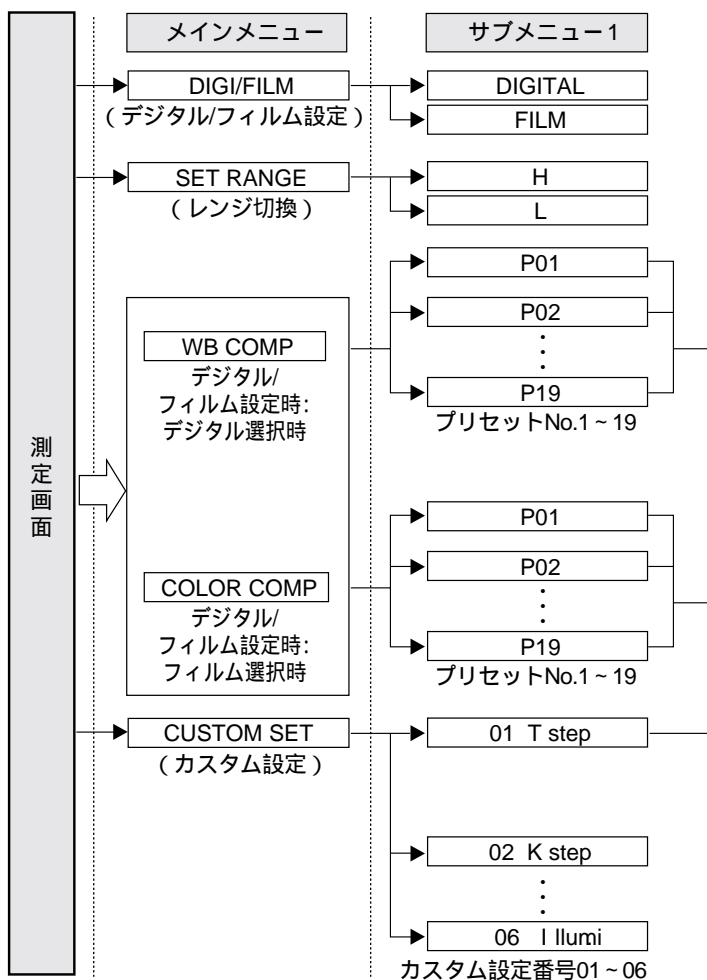
電源ON/OFFではロックの解除はできません。

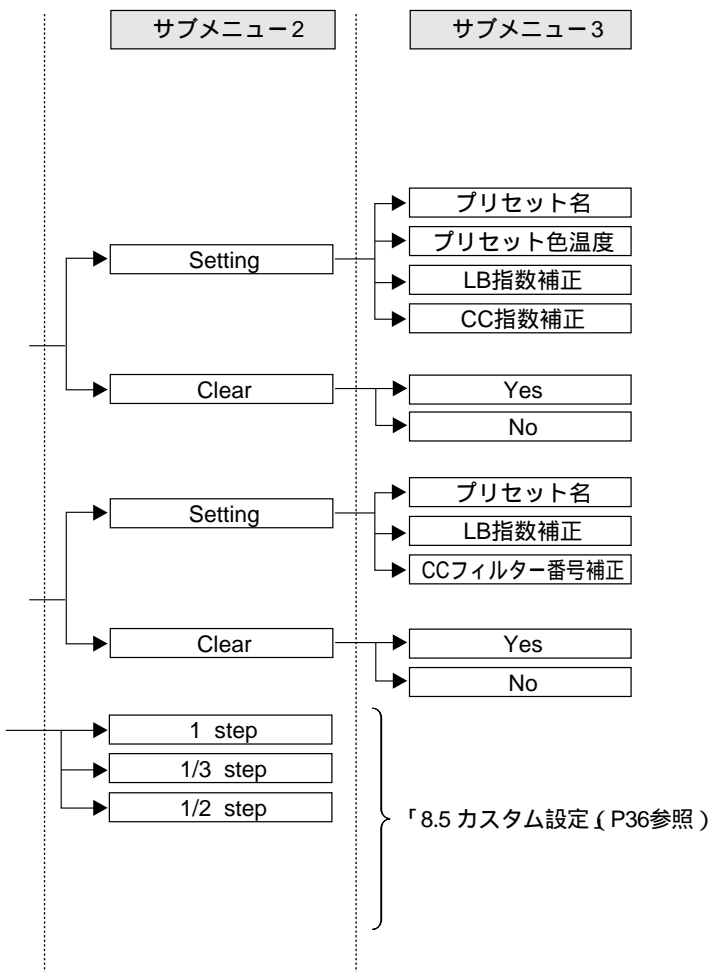
8 メニュー設定

メニューモードで、各種の測定条件を設定できます。

8-1. メニュー一覧

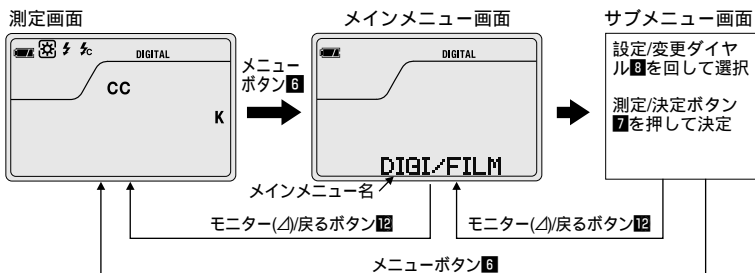
以下にメニュー一覧を示します。





メニューモードの基本操作

メニューモードへの入り方	測定画面でメニューボタン 6 を押します。メインメニューがドットマトリクス部に表示されます。
メニュー/サブメニューの選択・設定	設定/変更ダイヤル 8 を回し、目的のメニューを表示します。測定/決定ボタン 7 を押すと、そのメニューが選択されます。サブメニューがある場合は、同様に設定/変更ダイヤル 8 を回し、目的のサブメニューを表示します。測定/決定ボタン 7 を押すと、そのサブメニューが選択または設定されます。
前画面への戻り方	モニター(Δ)戻るボタン 12 を押します。設定内容が決定され、1つ前の画面に戻ります。
測定画面への戻り方	メニューボタン 6 を押します。設定内容が決定され、測定画面に戻ります。



8-2. デジタル/フィルム設定

撮影に使用するカメラの種類を設定します。メインメニューの [DIGI/FILM] を選択して行います。

「5-2. デジタル/フィルムの設定 (P10) を参照してください。

8-3. レンジ切換

フラッシュ光の強さに応じてレンジ (H / L) を切り換えて使用します。メインメニューの [SET RANGE] を選択して行います。

「6-5. レンジ切換 (フラッシュ光モードのみ) (P23) を参照してください。

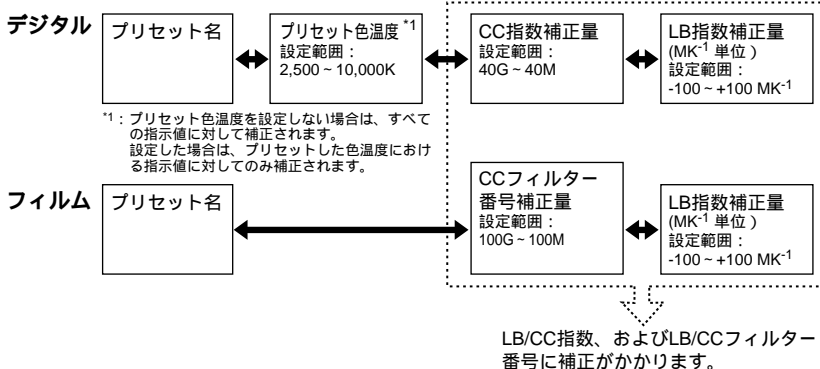
8-4. プリセット設定

プリセット色温度 (デジタルのみ)、LB補正量およびCC補正量をプリセット No.1 ~ 19 に設定できます。測定時、プリセットNo. に設定した値を呼び出して使用することができます。また、各プリセットNo. に、最大8桁の名前を付けておくことができます。

本機は当社の基準により標準的な校正がされていますが、撮影条件によって指示通りのフィルター補正では正しい色再現ができない場合や、また意図的に好みの色調で撮影したい場合は、フィルターの指示値を補正する必要があります。

このような場合、予め指示値に対する補正量をプリセットNo. に登録してから測定すると、補正量を加味した値で表示が行われます。

また、デジタルカメラのプリセット色温度を予め設定しておくことができるため、基準色温度を入力しなくてもプリセット値を呼び出して設定できます。



！ ご注意

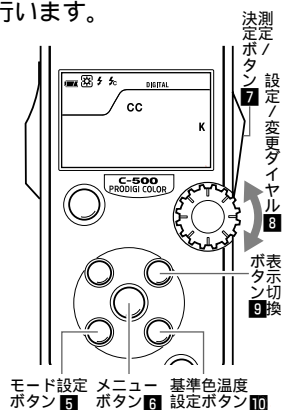
補正するときは、お使いになるデジタルカメラやフィルムによる十分なテスト撮影の結果を元にご自分の好みに合わせて補正してください。

プリセットで設定された補正は、LB/CC指数、およびLB/CCフィルター番号にのみ補正がかかります。色温度 (K) や照度 (lx, FC) は補正されません。

8-4-1. プリセット登録

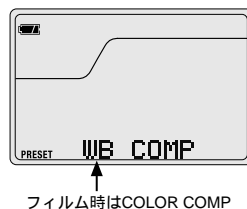
プリセットは、メインメニューの [WB COMP] (デジタル選択時) または [COLOR COMP] (フィルム選択時) を選択して行います。

- 1) メニューボタン **6** を押してメインメニューに入ります。(ドットマトリクス部にメニュー名が表示されます。)

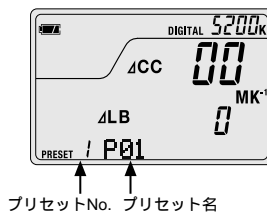


- 2) 設定/変更ダイヤル **8** を回して [WB COMP] (デジタル選択時) または [COLOR COMP] (フィルム選択時) を選択し、測定/決定ボタン **7** を押して確定します。

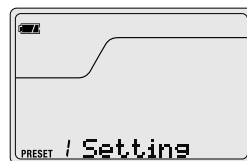
画面下部に、プリセットNo.と設定されているプリセット名が表示されます。(プリセット名が設定されていない場合は、P01(~ P19)が表示されます。)



- 3) 設定/変更ダイヤル **8** を回して目的のプリセットNo.を選択し、測定/決定ボタン **7** を押して確定します。([Setting] が表示されます。)



- 4) 設定/変更ダイヤル **8** を回して [Setting] を選択し、測定/決定ボタン **7** を押して確定します。



- 5) カーソルがプリセット名の最初の文字に置かれ点滅しますので、プリセット名(最大8桁)を設定します。(設定しない場合はこの手順は不要です。測定/決定ボタン7を押して手順6)に進んでください。)

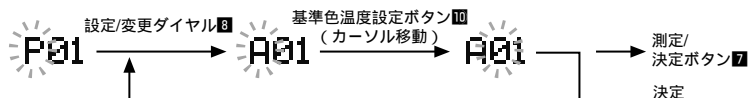
1. 設定/変更ダイヤル8を回して目的の文字を選択します。

選択可能文字は、アルファベット(大文字、小文字)、数字、空白、記号(@、'、-(ハイフン))、' (カンマ))、' (ピリオド))、' です。

アルファベットの大文字/小文字の切り換えは、表示切換ボタン9を押すたびに変わります。

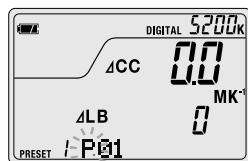
2. 基準色温度設定ボタン10を押してカーソルを右に移動します。(モード設定ボタン5を押すと左に移動します。)

3. 手順1~2を繰り返して文字を入力していきます。

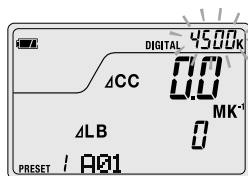
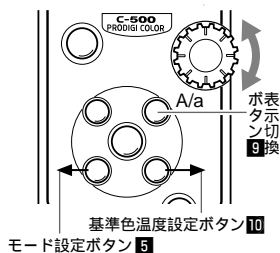


4. 測定/決定ボタン7を押して、プリセット名を確定します。
デジタル時: 色温度の値が点滅します。(手順6)に進んでください。)
フィルム時: CCフィルター番号の値が点滅します。(手順7)に進んでください。)

- 6) プリセット色温度の値が点滅します(デジタル選択時のみ)。設定/変更ダイヤル8を回してプリセット色温度を選択し、測定/決定ボタン7を押して確定します。(CC指数の値が点滅します。)



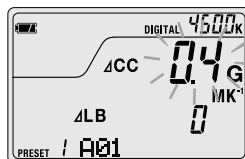
カーソル点滅



! ご注意

デジタルのプリセットの指示値補正は、プリセット色温度をプリセットしていないときは全ての色温度に対して補正が有効になります。このため、決まったプリセット色温度だけにフィルターの指示値の補正を行いたいときは、プリセット色温度をプリセットしておいてください。

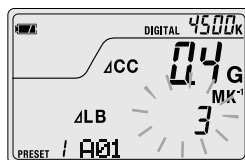
- 7) CC指数/フィルター番号の値が点滅します。設定/変更ダイヤル**8**を回して補正値を選択し、測定/決定ボタン**7**を押して確定します。(LB指数の値が点滅します。)



ご参考

CC指数の1は2.5CCフィルター番号に相当します。(P12参照)

- 8) LB指数の値が点滅します。設定/変更ダイヤル**8**を回して補正値を選択し、測定/決定ボタン**7**を押して確定します。(プリセット名の入力に戻り、最初の文字でカーソルが点滅します。)



- 9) プリセットの設定が終了しました。測定画面に戻るにはメニューボタン**6**を、1つ前の画面に戻るにはモニター(Δ)/戻るボタン**12**を押します。

ご参考

デジタルの場合

メーカーによっては忠実色再現のために推奨する色温度があります。カメラ名と色温度をプリセット設定しておくとう便利です。

推奨色温度についてはお使いのカメラの説明書をご確認ください。
ホワイトバランスモードの色温度は、プリセット設定を使うとう便利です。

【カメラのホワイトバランスモードの色温度目安】

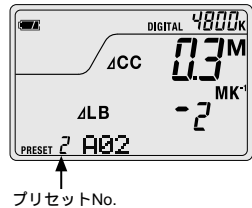
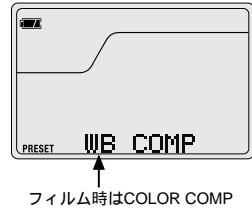
太陽光:	5,200K ~ 5,400K
日陰:	7,000K ~ 8,000K
くもり:	約6,000K
白熱電球:	2,800K ~ 3,200K
白色蛍光灯:	4,000K ~ 4,200K
フラッシュ光:	5,400K ~ 6,000K

メーカーにより異なる場合がありますので、お使いのカメラの説明書をご確認ください。

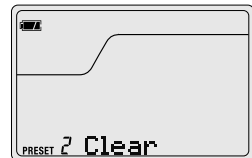
8-4-2. プリセットデータのクリア

設定したプリセット名、プリセット色温度(デジタル選択時のみ)、LB指数補正值およびCC指数/フィルター番号補正值を、プリセットNo.単位で一括クリアします。

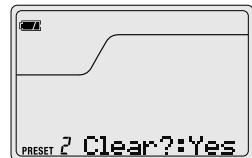
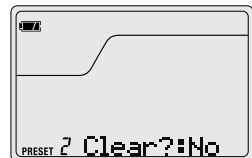
- 1)メニューボタン**6**を押してメインメニューに入ります。(ドットマトリクス部にメニュー名が表示されます。)
- 2)設定/変更ダイヤル**8**を回して[WB COMP] (デジタル選択時)または[COLOR COMP] (フィルム選択時)を選択し、測定/決定ボタン**7**を押して確定します。
画面下部にプリセットNo.と設定されているプリセット名が表示されます。(プリセット名が設定されていない場合はP01(~ P19)などが表示されます。)
- 3)設定/変更ダイヤル**8**を回してクリアしたいプリセットNo.を選択し、測定/決定ボタン**7**を押して確定します。([Clear]が表示されます。)



- 4)設定/変更ダイヤル**8**を回して[Clear]を選択し、測定/決定ボタン**7**を押して確定します。



- 5)設定/変更ダイヤル**8**を回して[Clear? : Yes]を選択し、測定/決定ボタン**7**を押します。
選択中のプリセットNo.の値がクリアされます。
(クリア操作をキャンセルしたいときは、[Clear? : No]を選んで、測定/決定ボタン**7**を押します。)
- 6)測定画面に戻るにはメニューボタン**6**を、1つ前の画面に戻るにはモニター(Δ)/戻るボタン**12**を押します。



8-5. カスタム設定

以下のカスタム機能が用意されています。必要に応じて設定を変えて使うことができます。

[T step](シャッター速度ステップ):

シャッター速度を1段、1/3段、1/2段から選択できます。

[T step](基準色温度ステップ):

設定する基準色温度またはプリセット色温度のステップを100Kステップ、10MK⁻¹ステップから選択できます。

[LB step](LB指数表示ステップ):

LB指数の表示ステップを1MK⁻¹ステップ、1daMK⁻¹(小数点なし)ステップ、0.1daMK⁻¹(小数点あり)ステップから選択できます。

[LB filter](LBフィルター表示):

LBフィルター番号の種類をコダックラッテン / LEE、フジLBA/LBBから選択できます。

[Auto off](自動電源OFF設定):

何も操作されなかったときに、自動電源OFF機能が働くまでの時間を20分、10分、5分、無効から選択できます。無効[None]に設定した場合は、電源は自動的に切れません。

[Illumi.](簡易照度測定モード):

簡易照度測定モードをなし、lx(ルクス)、Fc(フートキャンドル)から選択できます。

カスタム設定一覧表

サブメニュー1		サブメニュー2			
設定番号	カスタム設定名	項目名/番号			
		0	1	2	3
01	T step (*1) (シャッター速度ステップ)	1 step (1段ステップ)	1/3 step (1/3段ステップ)	1/2 step (1/2段ステップ)	-
02	K step (*2) (色温度基準ステップ)	100Kstep (100Kステップ)	10MK ⁻¹ step (10MK ⁻¹ ステップ)	-	-
03	LB step (*3) (LB指数表示ステップ)	1MK ⁻¹ (1MK ⁻¹ ステップ)	1daMK ⁻¹ (1daMK ⁻¹ ステップ、 小数点なし)	0.1daMK ⁻¹ (1daMK ⁻¹ ステップ、 小数点あり)	-
04	LB filter (LBフィルター番号表示)	Wratten コダック / LEE	LBA/LBB フジLBA/LBB	-	-
05	Auto off (自動電源OFF設定)	20min (20分)	10min (10分)	5min (5分)	None (無効)
06	Illumi. (簡易照度測定モード)	None (なし)	lx + FC lxおよびFc表示	lx lxのみ表示	FC FCのみ表示

項目番号「0」が出荷時の設定(初期値)です。

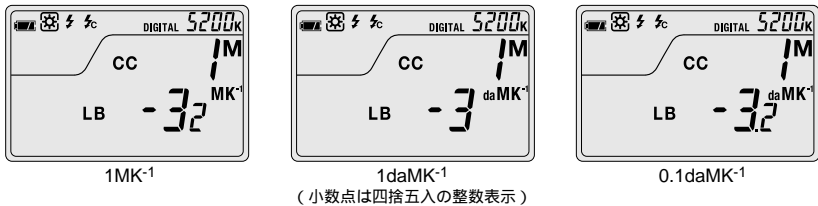
(*1): 選択可能なシャッター速度(単位:秒)

1 step (初期値)	1、1/2、1/4、1/8、1/15、1/30、1/60、1/125、1/250、1/500、1/75、1/80、1/90、1/100、1/200、1/400
1/3 step	1、0.8、0.6、0.5、0.4、0.3、1/4、1/5、1/6、1/8、1/10、1/13、1/15、1/20、1/25、1/30、1/40、1/50、1/60、1/80、1/100、1/125、1/160、1/200、1/250、1/320、1/400、1/500、1/75、1/80、1/90、1/100、1/200、1/400
1/2 step	1、0.7、1/2、1/3、1/4、1/6、1/8、1/10、1/15、1/20、1/30、1/45、1/60、1/90、1/125、1/180、1/250、1/350、1/500、1/75、1/80、1/90、1/100、1/200、1/400

(*2): 選択可能な基準色温度(単位:K)

100Kステップ	2500、2600、2700、2800、2900、3000、3100、3200、3300、3400、3500、3600、3700、3800、3900、4000、4100、4200、4300、4400、4500、4600、4700、4800、4900、5000、5100、5200、5300、5400、5500、5600、5700、5800、5900、6000、6100、6200、6300、6400、6500、6600、6700、6800、6900、7000、7100、7200、7300、7400、7500、7600、7700、7800、7900、8000、8100、8200、8300、8400、8500、8600、8700、8800、8900、9000、9100、9200、9300、9400、9500、9600、9700、9800、9900、10000
10MK-1ステップ	2500、2550、2650、2700、2800、2850、2950、3000、3100、3200、3300、3400、3600、3700、3800、4000、4200、4300、4500、4800、5000、5300、5600、5900、6300、6700、7100、7700、8300、9100、10000

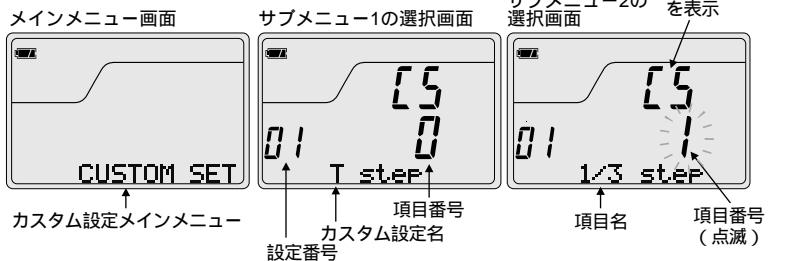
(*3): LB指数表示ステップ



【ご参考】

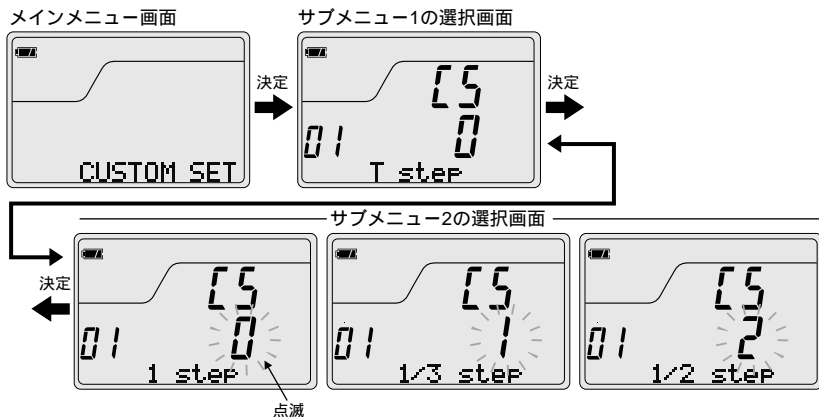
1MK⁻¹は1ミレッド(MIREDD)に相当します。(P42参照)
従来使われていたミレッド(MIREDD)という単位は現在、国際単位系(SI単位系)に基づき毎メガヘルピン(MK⁻¹)に統一されています。本機は最新の単位表記を採用しています。

【カスタム設定画面の見方】



ここでは例として、T step(シャッター速度ステップ)の設定を変更する場合について説明します。操作手順はどの設定項目についても同じです。

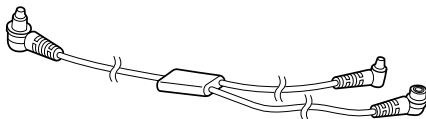
- 1)メニューボタン**6**を押してメインメニューに入ります。(ドットマトリクス部にメニュー名が表示されます。)
- 2)設定/変更ダイヤル**8**を回してドットマトリクス表示を選択し、測定/決定ボタン**7**を押します。
- 3)設定/変更ダイヤル**8**を回してサブメニュー1のカスタム設定名([T step][K step]... [Illumi.])の中からカスタム設定名「T step」を選択します。
ドットマトリクス部にはカスタム設定名「T step」が、その上部には「[T step]」の現在設定されている項目番号(0, 1, 2)が表示されます。
- 4)測定/決定ボタン**7**を押します。
現在の設定値が点滅します。例:0(点滅)と1 step
- 5)設定/変更ダイヤル**8**を回して、目的の項目名/項目番号を選択し、測定/決定ボタン**7**を押して決定します。
手順3)の表示に戻ります。
- 6)手順3)~5)を繰り返し、他の項目も必要に応じて設定します。
- 7)測定画面に戻るにはメニューボタン**6**を、1つ前の画面に戻るにはモニター(Δ)戻るボタン**12**を押します。



9 別売アクセサリ

シンクロコード

長さ5mのコードは3つのプラグを持ち、カラーメーター、フラッシュとカメラを接続同調させることができますので、撮影する時にもコードを差し換える必要がなく便利です。また、シンクロコードの一方の接続端子は、ロック機構がついておりますのでカラーメーター側に使用すると確実に接続することができます。



10仕様

形式	4センサー内蔵デジタルカメラおよびフィルムカメラ対応カラーメーター	
受光方式	入射光式	
受光部	白色平板(固定)	
受光素子	可視域透過フィルター付きシリコンフォトダイオード(4センサー)	
測定方式	測定モード	<ul style="list-style-type: none"> ・定常光 定常光モード ・フラッシュ光 シンクロコードを用いて測定(コードイン)
	測定タイプ	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル シンクロコードなしで測定(コードレス) ・フィルム 等色関数近似による色温度測定 ・簡易照度 フィルム分光特性近似による色温度測定
	表示モード	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル 比視感度近似による簡易照度測定 ・フィルム 色温度+CC指数
		<ul style="list-style-type: none"> LBフィルター番号+CCフィルター番号 LB指数+CC指数 色温度 LBフィルター番号+CCフィルター番号 LB指数+CCフィルター ・簡易照度 定常光:ルクス(x),フートキャンドル(FC)
測定範囲 (ISO100)	色温度測定時の明るさ	<ul style="list-style-type: none"> ・定常光 EV3(20lx)~EV16.3(200,000lx) ・フラッシュ光 レンズL: FNo.2.80(20*xs)~FNo.2.20(1,300*xs)
	簡易照度	<ul style="list-style-type: none"> ・定常光 レンズH: FNo.1.60(640*xs)~FNo.9.09(38,000*xs) 2.5lx~610,000lx 0.23FC~56,500FC
定常光繰返し精度 (20 ±5)	色温度 (デジタル)	<ul style="list-style-type: none"> ・LB指数 2MK⁻¹以内 ・CC指数 0.8表示以内 ・CCフィルター番号 2表示以内
	色温度 (フィルム)	<ul style="list-style-type: none"> ・LB指数 2MK⁻¹以内 ・CCフィルター番号 2表示以内
表示範囲	簡易照度	<ul style="list-style-type: none"> ・表示lx/FC ±4%以内 ・デジタル 100Kステップ:2,500K~10,000K 10MK⁻¹ステップ:2,500K~10,000K タイプ選択:5,500K,3,400K,3,200K(3種類) 100Kステップ:2,500K~10,000K
	視覚の色温度	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル 2,300K~20,000K(上位3桁有効)
	写真的色温度	<ul style="list-style-type: none"> ・フィルム 2,300K~20,000K(上位3桁有効)
	LB指数	<ul style="list-style-type: none"> ・1MK⁻¹ステップ -500~+500MK⁻¹ ・1daMK⁻¹ステップ 少数無し:-50~+50daMK⁻¹ ・0.1daMK⁻¹ステップ 少数有り:-50.0~+50.0daMK⁻¹
	LBフィルター番号	<ul style="list-style-type: none"> ・コダックラッテン/LEE 80A+80D~85B+81E(40通り) ・富士フィルムLBA,LBB B20+B16~A20+A16(57通り)
	CC指数	<ul style="list-style-type: none"> ・80G~80M
	CCフィルター番号	<ul style="list-style-type: none"> ・200G~200M
	簡易照度	<ul style="list-style-type: none"> ・定常光 2.5~610,000lx(上位3桁有効) 0.23~56,500FC(上位3桁有効)
	シャッター速度	<ul style="list-style-type: none"> ・フラッシュ光 1秒~1/500秒(1,1/2,1/3ステップ) 他1/75,1/80,1/90,1/100,1/100,1/200,1/400秒設定可能
	プリセットNo.	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル なし、PRESET1~PRESET19 ・フィルム なし、PRESET1~PRESET19
	ドットマトリクス	<ul style="list-style-type: none"> ・1文字6×7ドット(有効5×7ドット)10文字

その他の機能	プリセット設定機能・デジタル/フィルム各プリセットNo.1～19 ダイヤルロック カスタム設定 ・6項目設定可能 モニター機能 測定範囲外および・[L, Under] アンダー) [O, Over] オーバー) 警告表示 表示範囲外 電池残量表示機能 ・3段表示 自動電源OFF機能 ・最終操作後約20分、約10分、約5分、無 液晶バックライト(EL)・EVα(約160lxまたは約15FC)以下にて点灯 自動点灯 三脚用ネジ穴付き ・1/4 - 20UNC
使用電池	単三形電池 ・1.5V×2本(アルカリ、マンガン、リチウム、ニッカド、 ニッケル水素、ニッケル系のいずれか)
使用温度範囲	-10 ～ 50
保管温度範囲	-20 ～ 60
寸法	約62(幅)×15α(高さ)×2α(厚さ)mm
質量	約220g(電池含む)
標準付属品	使用説明書(本書)、ソフトケース、ストラップ、シンクローターミナルキャップ、 クイックガイド、単三型乾電池(アルカリ)2本

1 1 付 録

11-1. 用語集

色温度	黒体を熱すると、その温度により、発する光(波長)の色が変化します。この光の色に対応した温度を色温度と呼び、単位はケルビン(K)であらわします。色温度が低いほど波長の長い光が多く赤っぽい光、色温度が高いほど波長の短い光が多く青っぽい光となります。 また、黒体の発する光と近似した色を持つ光源については、厳密には相関色温度と呼んでいますが、これらを含めて色温度と呼ぶ場合もあります。当説明書では、相関色温度も含め、色温度と呼びます。
光	電磁波のうち、人間の目で見えると言われていた波長(380nm～780nm)の物を指します。
黒体	光など、あらゆる波長に渡って完全に吸収し、また熱する事により、色温度に応じた光を発する理論上の物質のことです。
黒体放射	黒体を熱した時に発生する光のことです。
K	色温度により、各波長のエネルギー量が変わるため、色見え方が変わってきます。 ケルビン絶対温度の単位のことです。「K」と表示します。0(ゼロ)Kは-273.15℃または-459.67°Fになります
視覚の色温度	人の目の分光特性(等色関数と呼ぶ)に合わせたR・G・Bの3種類のセンサーを使用して、3種類のセンサーの比率よりもめた色温度。
写真的色温度	フィルムの分光特性に合わせたR・G・Bの3種類のセンサーを使用して、3種類のセンサーの比率よりもめた色温度。
MK ⁻¹	逆数色温度の国際単位系で、毎メガケルビンと呼びます。従来使われていたミレッド(MIRED)という単位と同じです。逆数色温度は1,000,000を色温度で割ったものです。 $\text{逆数色温度} = \frac{1,000,000}{\text{色温度}}$ 逆数色温度は色温度が高くなるほど数値は小さくなります。 (例) 10,000K=100MK ⁻¹ 、3200K=312.5MK ⁻¹ 相関色温度では、10,000Kでの100Kの変化と3,200Kにおける100Kの変化は、人間の眼で見ると3,200Kでの変化の方が大きく感じます。つまり、同じ色温度量の変化でも色温度の高低により人間の目には感じ方が違うということです。逆数色温度を使用すると人間の目にはどの色温度でも同一数量の変化を同じような変化として感じます。
daMK ⁻¹	MK ⁻¹ を10で割って表したものです。MK ⁻¹ 単位では人間の目に感じる色温度の変化としては非常に少なく、また、補正を行うことも難しいため、実用的な単位としてdaMK ⁻¹ (デカ毎メガケルビン)があります。従来の色温度変換フィルターではこの単位を採用しているものもあります。
LB指数	基準とする逆数色温度から測定した逆数色温度を引いたものです。単位はMK ⁻¹ (MIREDと同等)になります。
LBフィルター	写真撮影用の色温度を補正するためのフィルターのことで「Light Balancing Filter」の略です。光源の色温度を高くするにはブルーのフィルターを、低くするにはアンバーのフィルターを使用します。補正に使用するフィルター番号はdaMK ⁻¹ やデカミレッド(ミレッドの1/10)を名称の一部使用したのもやラッテンNo.があります。本機ではカスタムセッティング機能で、使用するフィルターNo.に合わせた表示をすることができます。
CC指数	測定した光源中のR・G・BのG成分(緑色の領域)が、色温度の基準となる黒体放射に対してどれだけずれているかを表したものです。CC指数1=2.5CCフィルター番号相当です。
CCフィルター番号	写真撮影用の色を補正するためのフィルターのことで「Color Compensating Filter」の略です。フィルターの種類にはイエロー(Y) マゼンタ(M) シアン(C) ブルー(B) グリーン(G) レッド(R)の6種類がありますが、本機ではこのうちマゼンタ(M)とグリーン(G)のフィルターを使用します。

11-2. フィルター使用時の露出補正

C-500で得たフィルターをカメラ側で設定した場合、一般に光量が低下します。単体露出計の露出値からこの低下分をカメラ側で補う場合は、下表の露出段数を参考にして露出を決めることができます。

なお、カメラに内蔵の露出計(TTL測光)の場合は、露出補正は必要ありません。

LBフィルターの場合

アンバー系				ブルー系			
LB指数 (MK ⁻¹)	メーカー		露出増加 段数 (+EV)	LB指数 (MK ⁻¹)	メーカー		露出増加 段数 (+EV)
	コダック/LEE フィルター番号	フジ フィルター番号			コダック/LEE フィルター番号	フジ フィルター番号	
+9	81	-	1/3	-10	82	-	1/3
+10	-	LBA-1	0	-	-	LBB-1	0
+18	81A	-	1/3	-	-	-	-
+20	-	LBA-2	1/3	-20	-	LBB-2	1/3
+27	81B	-	1/3	-21	82A	-	1/3
+30	-	LBA-3	1/3	-30	-	LBB-3	1/2
+35	81C	-	1/3	-32	82B	-	2/3
+40	-	LBA-4	1/3	-40	-	LBB-4	2/3
+42	81D	-	2/3	-45	82C	-	2/3
+52	81EF	-	2/3	-56	80D	-	2/3
+80	-	LBA-8	2/3	-80	-	LBB-8	1
+81	85C	-	1/3	-81	80C	-	1
+112	85	-	2/3	-112	80B	-	12/3
+120	-	LBA-12	2/3	-120	-	LBB-12	12/3
+131	85B	-	2/3	-131	80A	-	2
+160	-	LBA-16	1	-160	-	LBB-16	2
+200	-	LBA-20	1	-200	-	LBB-20	21/3

CCフィルターの場合

マゼンダ系			グリーン系		
メーカー		露出増加 段数 (+EV)	メーカー		露出増加 段数 (+EV)
コダック/LEE フィルター番号	フジ フィルター番号		コダック/LEE フィルター番号	フジ フィルター番号	
-	CC-1.25M	0	-	CC-1.25G	0
CC025M	CC-2.5M	0	CC025G	CC-2.5G	0
CC05M	-	1/3	CC05G	CC-5G	1/3
-	CC-5M	1/4	-	CC-7.5G	1/3
-	CC-7.5M	1/3	-	CC-7.5G	1/3
CC10M	CC-10M	1/3	CC10G	-	1/3
-	-	-	-	CC-10G	1/2
CC20M	-	1/3	CC20G	-	1/3
-	CC-20M	1/2	-	CC-20G	2/3
CC30M	CC-30M	2/3	CC30G	CC-30G	2/3
CC40M	CC-40M	2/3	CC40G	-	2/3
-	-	-	-	CC-40G	1
CC50M	-	2/3	CC50G	-	1
-	CC-50M	1	-	CC-50G	11/3

1 2 使用上のご注意

! ご注意

落下または急激な衝撃は絶対に避けてください。故障の原因になります。
水しぶき、雨等がかかる場所での使用は避けてください。故障の原因になります。
高温または多湿な場所には保管しないでください。故障の原因になります。
急激な温度変化による結露に注意してください。故障や誤動作の原因になります。
本機の温度が - 10 以下になると、液晶表示の応答が非常に遅くなり、表示が読みにくくなります。温度が 0 ~ 10 では液晶表示の応答が若干遅くなりますが、ご使用には差し支えありません。また、温度が 50 を超えると液晶表示が黒くなり、表示が読みにくくなりますが常温に戻ると元の状態になります。
真夏の直射日光下や暖房装置等の近くに放置すると、本機の温度が上昇し、故障の原因となる場合があります。このような場所での取り扱いにはご注意ください。

お手入れについて

精度に影響を与える恐れがありますので、受光部の白色平板にはホコリ、ゴミ、傷を付けないように扱ってください。

本機が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)は絶対に使用しないでください。

13 アフターサービスについて

* 弊社の製品には一定の期間内無償修理をお引き受けする保証書があります。記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間などについて

1. 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
2. 保証書にお買い上げ日および販売店名のないものは保証の対象になりませんので、必ずお確かめください。
3. 保証期間内でも有償修理となる場合もありますので、保証書の記載事項をお確かめください。
4. 保証期間経過後の修理は有料となります。また、運賃諸掛りはお客様にご負担願います。

補修用部品の保有期間などについて

1. 補修用性能部品は、製造打ち切り後7年間を目安に保有しております。したがって、本期間を過ぎますと修理をお引き受けできないことがあります。
2. 修理完了品には、弊社の修理納品書が発行されますのでお確かめください。
3. 修理可能期間内でも浸冠水、強度のショックその他損傷のいちじるしいもので、修理後の機能維持に問題が残ると思われるものにつきましては、修理不可能となる場合があります。

修理ご依頼にあたって

1. 修理品につきましては、故障内容を、またご指定の修理箇所があります場合には、その指定箇所をできるだけ具体的にお申し出ください。ご指定のない場合には、各部点検をはじめ品質的、性能的に必要と認められるすべてのところを検査・調整・修理することになり、修理料金が加算される場合がありますのでご留意ください。
2. 修理をご依頼されたものの中には単に電池を交換するだけで正常に作動する「故障していないもの」が見受けられます。電池の容量低下、(+ \times -) の逆、定格違いなどについて、よくお確かめください。

お問い合わせについて

本製品の保証、修理、使い方などのお問い合わせは弊社営業部門にご相談ください。

万一、製造上の不備で生じた不都合につきましては現品をもって保証させていただきます、それ以外の責は負いかねます。

株式会社 セコニック

〒178-8686 東京都練馬区大泉学園町7-24-14
TEL 03-3978-2366 FAX 03-3922-2144
<http://www.sekonic.co.jp>

JS1097611